



# A 試合会場レポート

試合番号 001

開催日 2022/05/04

2022年度 第70回黒鷲旗 全日本男女選抜バレーボール大会 男子

会場：丸善インテックアリーナ大阪

観客数：	開始時間： 11:00	終了時間： 12:44	試合時間： 01:44	主審：原 啓之	副審：村中 伸
------	-------------	-------------	-------------	---------	---------

## ジェイテクトSTINGS



監督：ファジャーニ フェデリコ  
コーチ：酒井 大祐

通算： - 勝 - 敗  
ポイント： -

3	25	第1セット 【 00:23 】	21	1
	20	第2セット 【 00:23 】	25	
	25	第3セット 【 00:24 】	23	
	25	第4セット 【 00:25 】	23	
		第5セット 【       】		

ポイント                      【】 内はセット時間                      ポイント  
-                                      () 内は交代選手                                      -

## パナソニックパンサーズ



監督：ティリ ロラン  
コーチ：ヴィンセント ビシェット

通算： - 勝 - 敗  
ポイント： -

### <監督コメント>

まずは、パナソニックの粘り強いプレーを称えたいと思います。全員のパフォーマンスが勝因につながったと思います。明日の決勝戦に向けて準備したいと思います。本日も多くのご声援ありがとうございました。

### <監督コメント>

惜しかったので悔しいです。ミスが発生し自信を失いました。タフな試合で簡単な場面はありませんでした。接戦だったからこそ、ラストレーションが溜まっています。ジェイテクトおめでとうございました。応援ありがとうございました。

25	久保山	陳	第1セット	深津	小宮	21
	( )	( 道井 )		( 大竹 )	( 渡辺 )	
	フェリペ	藤中		クビアク	仲本	
( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	福山	都築		白澤	清水	
( )	( )	( )	( )	( )	( 新 )	( )

リベロ：                      興梠                      リベロ：                      伊賀

20	フェリペ	久保山	第2セット	小宮	仲本	25
	( )	( 金丸 )		( 渡辺 )	( )	
	福山	陳		深津	清水	
( )	( 道井 )	( )	( )	( )	( )	( )
	都築	藤中		クビアク	白澤	
( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )

リベロ：                      興梠                      リベロ：                      伊賀

25	福山	フェリペ	第3セット	小宮	仲本	23
	( )	( )		( 渡辺 )	( )	
	都築	久保山		深津	清水	
( )	( )	( )	( 大竹 )	( 新 )	( )	( )
	藤中	陳		クビアク	白澤	
( )	( 道井 )	( )	( )	( )	( )	( )

リベロ：                      興梠                      リベロ：                      伊賀

25	都築	福山	第4セット	クビアク	深津	23
	( )	( )		( )	( )	
	藤中	フェリペ		白澤	小宮	
( )	( )	( )	( 渡辺 )	( )	( )	( )
	陳	久保山		大竹	仲本	
( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )

リベロ：                      興梠                      リベロ：                      伊賀

	( )	( )	第5セット	( )	( )	
	( )	( )		( )	( )	
	( )	( )		( )	( )	

リベロ：                      興梠                      リベロ：                      伊賀

### <要約レポート>

前回大会2位のパナソニックパンサーズと前々回大会2位のジェイテクトSTINGSとの決勝進出をかけた一戦。第1セットは両チームともにサイドアウトの応酬となった。ジェイテクトは序盤から都築、フェリペを軸とした攻撃を見せた。対するパナソニックは清水のアタックが効果的に決まる展開となるも、最後はミスもあり、ジェイテクトが1セット目を先取した。第2セットはパナソニック・深津のブロックポイントから幕を開けた。ジェイテクトは陳、福山らを活かした速い攻撃をしかけたが、終盤に白澤のブロック、清水、仲本のスパイクが連続で決まり、勢いをつけたパナソニックがセットを取り返した。第3セットは中盤に、パナソニック・小宮の3連続得点で勢いをつける。対するジェイテクトもセッター久保山を起点として、多彩な攻撃を繰り広げリードを許さない。一進一退の攻防の末、最後は久保山がブロックを決めてジェイテクトが第3セットをとる形となった。第4セットは両チーム白熱した展開となった。序盤パナソニックはライトから大竹が強烈な攻撃をしかける。対するジェイテクトは藤中がそれを阻止するブロックを決め、流れを引きわたさない。最後はフェリペがスパイクを決め、ジェイテクトが4年ぶりの決勝戦へと駒を進めた。

作成者：伊藤 浩介